

第1分科会

不登校について

講師：鳥取県認定フリースクール ちゃれスクール代表 間屋口 貴仁 氏

1. 不登校の現状

令和2年からは上昇傾向で学年が上がるに連れ中2をピークに上昇している。理由は自我が芽生え、自分の安全を守るために学校に行かないという判断をする。要因としては親子の関わり、生活リズムの乱れ、無気力・不安が挙げられているが不登校の子どもにアンケートを取っている現状が背景としてある。不登校の状態になったときに背景要因を考えアセスメントをすることが支援する上では大切。

2. ちゃれスクールの取り組み

たくさんのかべを取り除き「フリー」な状態にした教育機関である。教育相談や個別学習指導を行う。勇気や努力を振り絞り連れてくるため初回面談には全力を費やす。保護者・本人に寄り添い本人の言葉が聞けるようにする。心理発達検査や、作品、行動など総合的にアセスメントし個別の指導計画を作成する。不登校の理由は本人もわからない。

3. これからの課題

教育的多職種連携が必要となってくる。組織の場合にはそれぞれの立場からの責任が出てくる連携をすることにより互いにフォローし合うこともむずかしかった。それぞれの立場からできることを実践し共通理解し関わることで安心できる環境を提供することができる。PDCA や OODA など活用する。

第2分科会 [PTA活動]PTA役員さん向けワークショップ ～ピンチをチャンスに！こんなときどうする～

施策説明

鳥取県教育委員会事務局 中部教育局 徳永氏

- ・インターネットについて：子供のインターネット利用時間 3.5時間～4.5時間/日
1日3時間で計算すると年間1095時間となり、学校で1年間学ぶ時間より長い。
自由に使える時間、本当にそれでいいの？視力も悪くなっている傾向がある。
- ・学校などでの研修会に講師や進行役を派遣しています。
(ファシリテーター/家庭教育アドバイザー/子ども読書アドバイザー他)
- ・コミュニティスクールについて
学校・家庭・地域が一体となって子供たちを育てていこうというスタンス。
- ・SNSのトラブルから子供を守る合言葉「とりのからあげ」

研修会

ファシリテーター 鳥取県PTA協議会 前会長 松岡さん

- ・PTAのピンチとは
インターネットなどで、PTAの活動について後ろ向きな記事が多く出ている。PTAの解散や、上部団体からの脱退など。
コロナ禍もあり、活動が思うようにできていない。しなくてもいいならしなくていいのではという意見が多くなってきている。 ↓↓↓↓↓

こんな時だからこそこれからのPTAの活動を見直すチャンスでもある。

- ・誕生日当てゲームをしながらグループ分け。緊張ほぐし①
- ・松岡さん 自己紹介 趣味などをクイズ形式で出し各グループで話し合い、緊張ほぐし②
- ・研修会でのお願い
参加：みんなが参加しましょう。 尊重：人の意見を否定するのはやめましょう。
守秘：話した内容は口外しないように。特に負の情報。ただし、良い情報はどんどん活用してください。

《意見交換》

各自で項目の意見を付箋に書き、それを模造紙に張り付けてグループごとに意見発表。

① PTAの役割ってどんなことだろう？

みんなで子供たちを育てる、見守る	生徒・先生・保護者にとって良い環境作り
学校と保護者をつなぐ役割	保護者の学びの場
学校をより良いものに	親同士のコミュニケーションの場
学校行事を支える	地域との繋げや役

② 今のPTAが抱える問題とは

保護者の考え方が多様化してきている	PTAをやりたいと思わない
役員の担い手が少ない	少子化もあり行事をすること自体が難しい
単年の役員だと改善が難しい(去年と一緒。となりがち)	
総会出席率低い	役員＝会合が多い。職場の理解も得られないことがある。休みにくい。
コロナ前の活動を知らない人が増えた。(保護者も先生も)	

③ ②の問題を解決するには

拘束時間を短く (LINE や Zoom などを活用し効率 UP)

TA は楽しいという意識に持っていく。(具体案は出ていないが。。。)

何かをした場合の達成感の可視化 会員全員にアンケートを取り、全員で決め

・会長として気を付けてほしいこと

会議の終了時間は先に決める。 会議の目的を明確に。

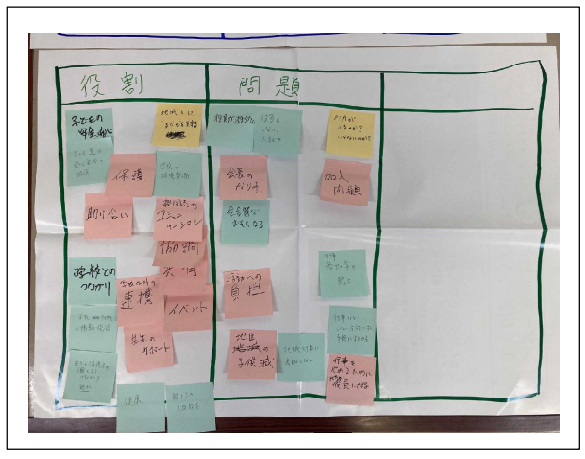
物事を決めるときに自分たちがワクワクできるかどうか。 先生や保護者の悪口を言うのはやめよう。

・最近聞きたい言葉

「人は人を浴びて人となる」 我々は人とのつながりをはぐくみながら成長していく。

・県Pについて

各学校には各学校のPTAがあります。次に郡市のPTAがあり、鳥取県内の郡市のPTAで組織されているのが鳥取県PTA協議会となります。鳥取県内のすべての子供たちのために活動を行っています。



第3分科会 【広報分科会】

研修内容：年間行事や規格の広報誌での取り上げ方

実践発表：北条小学校・北条中学校 PTA 広報部長

講師：新日本海新聞社 地域プロデュース局 田中仁成氏

【実践発表】

発表者：北条小学校広報部長 岡崎ゆき氏

北条中学校広報部長 鯛天まゆみ氏

発表内容：小・中共同広報誌の為迫力ある内容。紙面も A2 サイズ

地域の方へアンケートを取り、写真枚数を増やした。

広報誌1部あたり部開催5回。負担あり2回案を協議中。

印刷代高騰の為全戸配布を年4→年2にした。

【受賞広報誌を見る】

部屋の後方に準備した広報誌をみんなで見る。

講師の田中さんより受賞した広報誌をみながら

内容、紙面レイアウトについてコメントを頂き学ぶ。

【グループ活動】

3班に分かれ

自己紹介 学校名・名前・昨日の晩御飯

広報部内での活動の困りごと、受賞広報誌の感想を話し、情報交換

【講師よりアドバイス】

・ 広報誌の一番の役目は、見る人が楽しみにしている事、興味のある事を載せる。

・ 地域の人とのかかわりが伝わる内容がベスト。

・ 紙面の見せ方として①「魅力」今の話題 ②「迫力」タイトル ③「構成力」レイアウトがあり、受賞した広報誌を印刷屋さんに見せるのもあり。

・ 紙面の企画づくりは、広報部員だけで作るのは大変なので外部に委託の方法もある。

・ 県知事、町長、校長、教育委員会、クラブの監督に今の〇〇について考えを広報誌に載せたいと依頼すればだいたい書いてくれる。PTAの存在有無や、子どものころ、部活を地域委託など広報委員で気になっているタイトルだけ考えればいい。

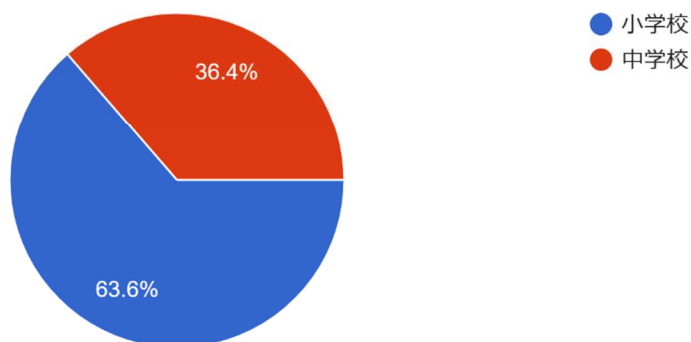
【まとめ】

受賞広報の写真をとり各学校の広報部員さんと協議に使用する。

R5 中部役員研修会 アンケート結果

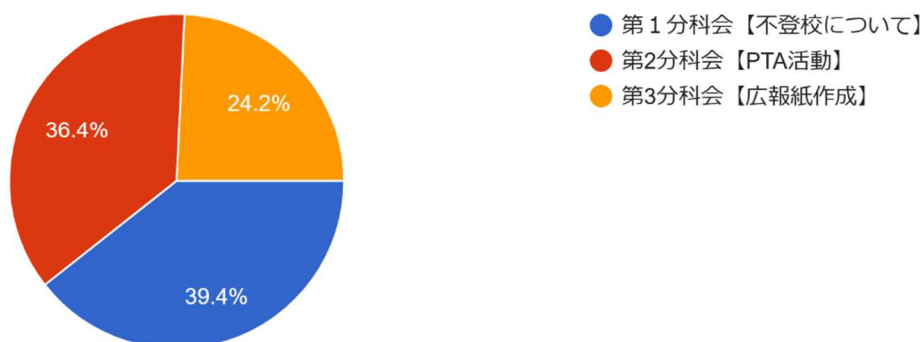
1 学校区分

33件の回答



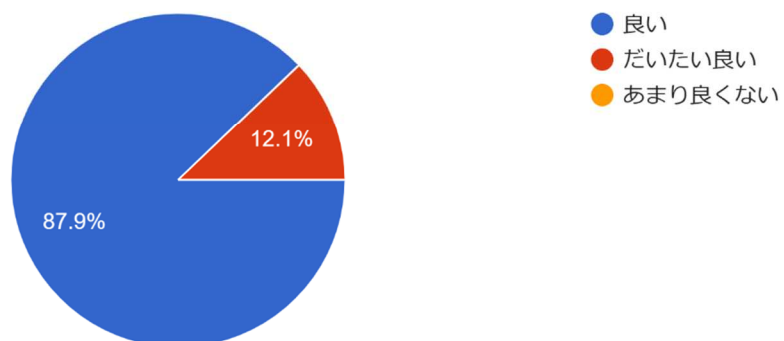
2 参加分科会

33件の回答



3 分科会について（1）テーマ（不登校・PTA活動・広報紙作成）について

33件の回答



(2)本日、研修した内容について

第1分科会 不登校

- ・不登校は実際に今身近に起こっている問題なので、当事者だけでなく関わる周りの問題として取り組んでいきたい
- ・学校現場、行政からの視点ではなく、子ども目線でのお話、保護者目線でのお話を伺うことができた。
- ・現場からのリアルな経験、学校でそこまで聞くことはできない事だけど保護者、生徒に1番身近な事だから。
- ・登校班の中にも不登校の子がいます。次男と同級生で、いじめとかではなく 勉強が嫌とかシンプルなものだと思います。家でズーとゲームをしているので、次男の野球がない時に遊びにおいでと言うと 遊びに来ています。小学校でも人数が増えていると思います。なんとかしたいです。
- ・不登校についての講座を受講しましたが、年々増えている事、誰しもありえる事ですし、多くの方が知っていたら良いなと思いました。不登校になる前、なった後の親、周りの対処も知っていると思います。
- ・子供の朝のいきしぶりを経験し心身の不調で数日休んだ事があり、子供はいつ不登校になってしまうかわからない可能性があるかと分かったので、間屋口先生のように安心できる先生に相談できる場所があると伝えたい。
- ・「教育的多職種連携」というアプローチの仕方が、不登校か否かに関わらず、みんなで1人の子どもを育てるという視点でとても効果的なものに思えた。日頃から多職種間で情報共有したり連携して関わっていくことの大切さを改めて感じた。
- ・育児のヒントになり、とても参考になった。

第2分科会 PTA活動

- ・同じ悩みがあり、参考になった
- ・PTA 活動に対する負担感を何とか減らしたい
- ・会議の進め方や、ZOOM 等のオンライン会議など、出来る事から始めてみたい。
- ・ヒントや関わり方など、誰かを悪者にするのではなく、前向きなお話でとても参考になった。
- ・会議で使用したいと思う
- ・自分自身が今日の会の参加に正直後ろ向きだったが、参加してみて楽しかったので、同じように思いを共有したいと思った
- ・自分の学校だけではなく、他の小学校や違う中学校の意見が聞けて、色々と参考になった。
- ・負担をなくすための要点が知れた
- ・役員の負担感を減らしたいと思った
- ・前向きになれるお話が聞けました
- ・いろんな考え方がある中で、一つの方向性として検討していきたい。
- ・抽象的で取り込めない。

第3分科会 広報紙作成

- ・他校の紙面を見ることで参考になった
- ・他校の広報誌をみて、自分の学校でもやってみたいと思うところがいっぱいあったので、次回作るものに使ってみようと思いました。写真の撮り方など。
- ・勉強になった。色々と広報の作品を見てこんなもあるのだなとか講師さんの言葉が参考になった
- ・記事の種類が豊富で、アイデアをいただきました。あまり難しく考えずに、楽しんで活動できそうな気がします。ありがとうございました。
- ・外部の人へのインタビューや原稿を依頼するなどしてみたい。
- ・自分が広報誌を作成する担当では無いため、今回の内容を共有し、参考にしてもらえたらと思う。

4 今後研修したい内容

- ・ヤングケアラーの問題について学んでみたい。
- ・パンフレットにあった移植医療について、もっと身近にいのちを考える内容とか気になりました。
- ・地域を盛り上げる研修
- ・リーダー研修のような内容
- ・特には思い浮かびませんが、子供の事に関係する事はなんでも勉強したいと思います。
- ・子供達のインターネットの使い方(ユーチューブをみて子供が家族に口が悪くなる為)
- ・子ども達を取りまくメディアについて。思春期の人間関係について。
- ・子どもとインターネット・メディアとの関わり方

5 研修全体をとおして

- ・参考になりました
- ・この内容でもっとしたかった
- ・土曜日開催で助かりました。お世話になりました。
- ・参加された他の学校の PTA 役員の方々と、もっと情報交換出来る機会があれば良いかと思えます。
- ・PTA のことが負担と思わない内容でした。
- ・また参加して勉強したいことがたくさんあった。参加してよかったです。
- ・時間がすぐになくなってすごいと思う。
- ・お話しが上手で聞きやすかったです。
- ・充実していて、時間が足りなかった。
- ・とてもよいお話しでした。誰でも不登校になってしまう可能性はありますし、子供対応の仕方など参考になりました。
- ・単 P 内では会長職は孤独に感じることもあったので、同じ境遇の方たちと問題点等について話すことができよかったです。中部教育局の施策説明の資料があれば、配布していただくとありがたいです。
- ・普段会えない人たちとの意見交換で刺激をもらいました。自分が思うこととの意見の相違になるほどな！と思うこともあり楽しく参加することができました。
- ・良き機会をありがとうございました。
- ・他学校の広報誌を見る事ができたのは参考になった。それに対しての田中さんの解説も分かりやすかった。隣の学校なのに広報に対する考え方や姿勢、熱量が全く違って驚いた。初めて知れて良かった。
- ・先生が子供達と真剣に向きあわれ子供達が心をひらかれていて、ひきこもりが治り社会に戻れるという事が本当にすごいなと思いました。相談できる場所があるという事が分かり、親としても安心しました。ありがとうございました！
- ・希望していた分科会と違って、変更してもらいました。落ち着いた雰囲気の中、とても勉強になりました。いろんな考え方があり、今の自分にとって新鮮に感じました。改めて、知ることって大事ななあ…と思いました。
- ・とても良い研修会だったので、時間をもう少し長くして頂きたい。